

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 12 月 20 日(2022.12.20)

【公開番号】特開 2021-148890(P2021-148890A)
 【公開日】令和 3 年 9 月 27 日(2021.9.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-046
 【出願番号】特願 2020-47312(P2020-47312)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14(2006.01)

10

G 0 2 B 26/08(2006.01)

H 0 4 N 5/74(2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 Z

G 0 2 B 26/08 D

H 0 4 N 5/74 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 12 月 12 日(2022.12.12)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光入射面を有する光学部を備えた可動部と、
 前記可動部を揺動軸回りに揺動可能に支持する軸部と、
 前記可動部を揺動させるアクチュエーターと、を備え、
 前記軸部の、前記揺動軸に沿う方向から見た断面形状は、内側に凹む複数の窪みを有する形状であることを特徴とする光学デバイス。 30

【請求項 2】

前記窪みの底部は、湾曲形状であることを特徴とする請求項 1 に記載の光学デバイス。

【請求項 3】

前記窪みは、角部を有することを特徴とする請求項 1 に記載の光学デバイス。

【請求項 4】

前記断面形状は、前記揺動軸を中心として回転対称であることを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか一項に記載の光学デバイス。

【請求項 5】

前記断面形状は、外周側へ突出する凸部と前記窪みとが周方向に交互に配置された形状であり、 40

前記凸部は、前記揺動軸と直交する第 1 方向の一方側および他方側、ならびに、前記揺動軸と直交し且つ前記第 1 方向と直交する第 2 方向の一方側および他方側に突出することを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか一項に記載の光学デバイス。

【請求項 6】

前記軸部を介して前記可動部を支持する固定部を備えることを特徴とする請求項 1 から 5 の何れか一項に記載の光学デバイス。

【請求項 7】

前記可動部の側端面から突出する前記軸部において、前記窪みと前記側端面とを接続する部位は、湾曲部を有することを特徴とする請求項 1 から 6 の何れか一項に記載の光学デ 50

バイス。

【請求項 8】

光入射面を有する光学部を備えた可動部と、
前記可動部を揺動軸回りに揺動可能に支持する第 1 軸部および第 2 軸部と、
前記可動部を揺動させるアクチュエーターと、を備え、
前記第 1 軸部の前記揺動軸に沿う方向から見た断面形状を第 1 断面形状とし、
前記第 2 軸部の前記揺動軸に沿う方向から見た断面形状を第 2 断面形状とした場合に、
前記第 1 断面形状と前記第 2 断面形状は異なり、
前記第 1 断面形状と前記第 2 断面形状は、それぞれ、内側に凹む複数の窪みを有する形状であることを特徴とする光学デバイス。

10

【請求項 9】

映像光を出射する光出射装置と、
前記映像光を拡大投射する投射光学系と、
前記光出射装置と前記投射光学系との間に配置される請求項 1 から 8 の何れか一項に記載の光学デバイスと、を備えることを特徴とするプロジェクター。

20

30

40

50